

新型コロナウイルス感染症予防対策について

(1) 前日まで

- ・大会に参加する生徒は、大会期日2週間前から大会当日までの体温及び、就寝時間、起床時間を検温カードに記入する。
- ・体調不良者が出た場合を想定し、各校体温計と消毒用脱脂綿等を準備する。

(2) 当日の朝から試合まで

- ・次の①～④に当てはまる場合は大会参加を控える。①発熱(平熱より高い場合) ②倦怠感、せきなど風邪のような症状がある場合 ③無味・無臭の症状がある場合 ④濃厚接触者に特定された場合
- ・入場前の顧問への検温カードの提出と試合後の手洗い、うがいを徹底させる。
- ・応援席や選手控え室では、密にならないように距離を取り座る。
- ・生徒は試合中以外はマスクを着用する。顧問、外部コーチ、審判等の大会関係者についても同様とする。
- ・マスク着用による熱中症発生のリスクも高くなることから、各校でこまめな水分補給等を行うなど、熱中症対策を徹底する。医療機関への搬送が必要な際は、緊急対応マニュアルの3(1)のア～オに従って対応することとする。

(3) 試合中

- ・競技中の大声での応援は控える。
- ・試合前後の挨拶の簡略化や握手を省略する。
- ・室内競技は30分程度に1回の換気や試合間の換気を行う。(窓を開放したままの実施も可)

(4) 試合後

- ・試合後の手洗い、うがい、手指消毒、ベンチの消毒を徹底する。
- ・専門委員は、競技会場のドアノブや取っ手等の会場施設の消毒に努める。

(5) その他

- ・バスで移動する際の車内ではマスクを着用し、数力所窓を開けるなど換気を行うこととする。

- * AEDの場所の確認、使用方法については事前に確認をしておくことが望ましい。
- * 医療用品については各専門部(大会運営費から)で負担のこと。